

特集号

緑ネット通信 No.84

緑のネットワーク・まつど

代表：藤田 隆
年会費：1000円
口座番号：00170-9-696174
連絡先：高橋盛男 090-2935-9444

都市の緑を残すためには、緑を見守り育む人のネットワークが不可欠です。私たちの活動の目的は、みどり特に樹林の保護・保全を願う人やグループと連携しその輪を広げ、豊かな生態系を保つ森を次世代に伝えることです。

第12回 オープンフォレスト in 松戸

薫風さわやかな季節、今年は5月11日から19日の期間に開催されました。天候にも恵まれ、のべ2000名を超える市民がまつどの森を楽しみました。



わくわく ドキドキ 森での体験

囲いやまの森

松戸市もかつては人びとの暮らしのすぐそばに森がありました。戦後の人口増とともに住宅団地、工業団地の進出などで樹林地、田畑が消失し、住宅地の中に樹林地がポツンと残された状態となり、近年、エネルギー革命や生活スタイルの変化に伴って管理の行き届かない樹林地が目立つようになってきました。

次世代に残されたみどりを引き継ぎたいと、市民、所有者、行政の3者が集う市長の諮問機関である松戸市緑推進委員会の発案で始めたのが里やまボランティア入門講座(平成15年)で、その修了生が「ハヶ崎の森」の保全活動を始めました。毎年里やまボランティア入門講座の修了生が輩出されると、市内の樹林地保全にあたるようになりました。みどりを次の世代に引き継ぐためには保全ボランティアだけでなく市民の理解が必要だとして、平成24年にオープンフォレストを始めました。12回目となる今年、18ヶ所の森が公開されました。

寄稿

甚左衛門の森

樹木探し 森の迷路

回を重ねるにつれて、様々な工夫を凝らし、楽しい体験を提供するようになっている森もあります。今回、甚左衛門の森でのスタンプラリーを紹介していただきました。

私たちが7年前、初めてこの森を整備しようと足を踏み入れた時、中は荒れ放題、ジャングル状態でとても散策の出来る里山と呼べるようなものではありませんでした。

そんな森を少しずつ切り開いていったとき、最初に目を引いて現れたのがまさしく「カボチャの木」でした。アラカシの木に何らかの原因で大きなコブができていたものなのですが見かけは誰が見てもカボチャそのもの。私たちはそれを「カボチャの木」と命名しました。

その周りを拠点としてカボチャの木広場と名付け、森の整備を進めていったのですが、元が荒れ放題の森ただけに普通では見られない珍しい状態の木が沢山。そんな珍しい木を見つける度にユニークなネーミングと共に樹木銘板を作っていました。オープンフォレストの時には子供たちの（大人の方も）驚きの笑顔を楽しみに、森の地図に銘(迷)木の写真を載せて案内していました。最近では周りの要望がどんどんエスカレートしていき、とうとうスタンプラリーとして楽しんでもらっています。

写真と一致する木を探し、そこに置いてある番号印を押して回るわけですが、子供達からも好評なようです。

ではカボチャの木をはじめ、いくつか面白い木をご覧ください。

海津 邦夫 記

< 松戸里やま広場「甚左衛門の森」 >

スタンプラリー 樹木探し 森の迷路

(見つけたら 地図の番号をスタンプしましょう)

場所 甚左衛門の森
日時 2024. 5. 11~12

森の迷路地図

カボチャの木
妖怪の木
イタチの木
テレックスの足
大蛇の木
あしながおじさん
森のアヤ取り
天上の桜
神龍の木 (シェンロン)

◎私達と一緒に活動しませんか
ボランティアとして、森の保全作業に携わっていただける方を募集しています。

◆活動場所・甚左衛門の森
松戸市東海野田字小浜敷97-1
10分(北総線) 東松戸駅から徒歩約15分
東松戸駅から(バス)本八幡駅行又は市川駅行
「住宅入り口」下車、徒歩5分

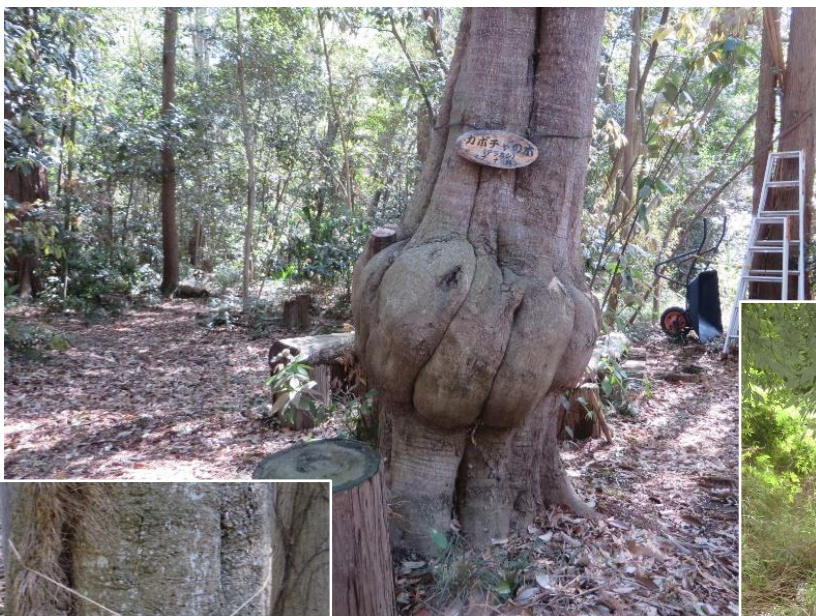
◆活動日
毎月第2・第4水曜日の午前(10時~12時)

◆連絡先
代表 金井 康郎
TEL 070-3368-9116
Eメール lois.kingdom@nifty.com

大きな懐きとうもろこし



「テレックスの足」の前で



かぼちゃの木



イタチの木



大蛇の木



あしながおじさん

それぞれの森で、それぞれの体験、楽しさ、よろこび、リフレッシュ・・・



静かな森の中で・・・うれしい入会希望の声も



カブトムシの幼虫さがしは大人も本気？



バランスをとって丸太渡り



根木内歴史公園の田んぼでは、根木内小家庭教育学級のみなさんが田植えを体験しました



ハンモックはどこでも人気！



ご近所のマンション自治会の皆さんの訪問もありました

今年は8つの森で100人以上のお客様を迎えるなど、かつてないにぎわいでした！



「わたしダンゴムシさわれるの」と得意げ。みんなで「ダンゴムシきょうそう」



関さんの森：関家のお庭には江戸時代に建てられた蔵があります。その中の昔の生活用品の展示のご案内もありました。



年長さん 90 名がやってきた



250 年の息吹が聞こえる?

「オープンフォレストのことは知らなかった、素晴らしい活動をしている」「市内に大きな森があるのは知っていたが、森に来てボランティア活動によって守られていることを学んだ」などの声がありました。

OF フォレスト企画

再発見ツアー65

新緑の緑をつないで歩く松戸・市川 しざかい散歩

藤田 隆

4月20日(土)東松戸駅に集まった参加者25人を待っていたのは農地が広がる田園風景でした。「松戸にもこんな所があるのね」と。これこそ再発見! ひばりがさえぎり農家の庭には重咲きの桜が咲き、暖かい日差しが心地よい感触です。

梨街道を渡り小浜屋敷の森に入ると空間がぽっかり空いて、森に包まれた心地になりました。杭が保護していたのはキンラン、周りを見渡すとそちこちに咲いていました。この森で目立つのはイヌシデで、樹皮の独特の模様が一説によると着物の柄の「よろけ縞」の模様のモデルらしいと写真を見せながら説明すると、着物に詳しい方から、男の方の着物の柄に多いと説明を加えてくれました。

甚左衛門の森ではナラ枯れの被害でコナラなどの大きな木を伐採したことで空間ができてしまい、これから植樹を考えていると話をしました。

市川市の大野の森に向かう途中では花盛りのサルトリイバラが、またウラシマソウをじっくり観察し受粉の戦略と性転換の説明をしました。

大野の森も市民ボランティアが保全活動をしています。ここではシートを敷いて大の字になって青空を見上げることをお勧めしました。広場でゆったりとした時間が持てたので、参加者全員に感想を聞きました。「すがすがしい森の中が楽しかった」、「よろけ縞、木が人の生活に身近なものとしてあったこと思い知らされた」などの意見をいただきました。



総会の報告

昨年度、新型コロナが5類感染症に移項し、パンデミックの猛威は過ぎたとはいえ、改めて新興感染症の備えを怠らずしておく、置き土産を残していきました。オープンフォレストや森の音楽会なども無事に開かれ、日常に近くなった感のある年になりました。

オープンフォレストで一般の方に森を公開する試みが12回行われ、再発見ツアーでは65回、それ以前の観察学習会を含めると81回になります。今年は里やま応援団に属する森15か所の森をめぐるツアーの企画でみなさんに松戸のみどりを再発見してもらおうかと考えています。

代表 藤田 隆

★松戸のみどり再発見ツアー(観察学習会) No.66

次号通信(9月発行予定)を再度確認ください。

「新松戸のみどりをつないで関さんの森へ」

10月14日(月休)(予定)9:30~12:30 (小雨実施) 参加費300円(会員は100円)

集合 新松戸駅 改札口 9:30集合

持ち物 飲み物、雨具

申込み・問合せ: 090-4078-3703 (藤田 18時以降) その他 歩きやすい服装でどうぞ

※参加は申込制・先着30名 (10月1日より受付)